

田富小だより

令和5年度
第8号
11月30日
田富小学校



教育を語る会を実施して

保護者の方々などと、講演会や授業参観をきっかけにして、教育について話し合う「教育を語る会」という行事がありますが、感染症の関係でなかなか参集による形式での実施ができない状況がありました。今年は、久しぶりに実施し、スマホ・ゲームについての講演会を開催して、子ども達だけでなく、大人のスマホ使用についても考え直そうという会になりました。『2023年度中巨摩教育と子どものすがた』には、次のようなデータが報告されています。「小学5年生の95%以上の子がスマホやタブレット・オンラインゲーム機器を所持し、2～3時間使用している人が35%、また、保護者からは、視力の低下、睡眠不足、勉強ができないといった不安がよせられている。」本校においても、ゲームやスマホなどの使用時間が高学年になるほど長くなり、夜遅くまで使用している、また、長時間使用している人が増えている傾向があります。



今回の講師の先生は、山梨県立精神保健福祉センター長：志田博和先生でした。これまで数多くの依存症と向き合ってきた専門家です。演題は、「スマホがつくる孤独、癒す孤独」で、我々とスマホの関りについて、多くのエビデンスを提示していただきながら、私達が如何にスマホと接していくべきかということを教えて頂きました。そして、この講演会を聞かれた保護者の方からは、「子どもの依存には、親の行動が大きく影響していることがわかった」「まずは私達親がしっかりと使用をすることから始めなければならないと知った」「改めて自己の行動、子どもとの関りをふりかえる機会となった」という声が多く寄せられました。さて、田富小では、学校とPTAが連携してスマホやゲームの依存の問題に取り組んでいます。こういった活動を継続しているのも、子ども達を取り巻くネット環境が巨大なものとなり、その世界へ足を踏み入れる年齢もだんだん低くなっているという現実があるからです。スマホやゲーム依存は、健康面の問題だけでなく、昼夜逆転といった生活の変化に始まり、不登校にまで発展することもあります。今回の講演会の内容のように、まずは、周囲の大人がしっかりと使用をし、そのうえで、子ども達と健全な情報機器との関係を構築していかなければならないと痛感した次第です。

楽しい！グラウンドゴルフ

11月13日(月)、クラブ活動が行われましたが、外球技クラブは、ことぶきクラブの方々と一緒に楽しくグラウンドゴルフを行いました。中央市のすべての小中学校で「学校運営協議会」という組織があり、コミュニティースクールの活動として、地域とともに子ども達を育もうという取り組みを行っています。今年度は、ことぶきクラブの方々より、この活動に協力して下さるということをお願いし、早速計画を立てていただきました。子ども達は初めてのグラウンドゴルフでしたが、ことぶきクラブの方々から丁寧に指導をしていただき、2ラウンド目には、随分上手になっていました。クラブ

の皆さんからも「うまくなったなあ」「ナイスショット」と声援をいただき、ちょっと肌寒い気候でしたが、子ども達はとても楽しく、元気にグラウンドゴルフを楽しみました。1時間ほどの時間でしたが、最後は子ども達もクラブの方も仲良くなり、ハイタッチして帰られた方もいらっしゃいました。ことぶきクラブの皆さん、ありがとうございました。

児童会役員選挙に思う

11月24日、令和6年度児童会役員選出のための立会演説会・投開票が行われました。6年会長1名、6年副会長2名、5年副会長1名の計4名を選出します。この日まで、立候補者と責任者を中心に選挙活動を行ってきました。3年生以上の各教室を回って演説をしたり、休み時間を利用して投票を依頼したりと忙しい日々を過ごしてきました。どの学級も立候補した友達を当選させるべく、一生懸命頑張っている姿が見られました。短い期間ではありましたが、クラス全員が協力しながら頑張っていて当日を迎えました。さて、当日、それぞれの候補者の演説は自分の考えを、簡潔にわかりやすくまとめていました。挨拶運動に取り組みたい、掃除をしっかりする活動に取り組みたい、全校みんなが仲良くなれるような縦割りの活動に取り組みたい、生活目標を定めて自ら規律ある生活に取り組めるようにしたいなど様々な発表がありました。どの候補者にも共通しているのは、「これまで上級生が創ってきた伝統を受け継ぎ、さらによりよい田富小にしていきたい」という意欲です。そして、とても感慨深かったのは、「私は田富小学校が好きです」といっていた候補者が多かったことです。子ども達が自分の通っている学校を楽しく思えて、さらによりよくしていきたい、もっと楽しく過ごせるようにしたいとあってくれていて素晴らしいと思いました。教職員としてこんなにうれしい言葉はあ



りません。子ども達のために、我々も更に頑張っていこうという思いがこみ上げてきました。候補者の皆さんには演説会のはじめに「当選しても、しなくてもあなた方は本当によく頑張った素晴らしい人なのだから、決して卑下することはない」といった内容の話をしました。演説会が終わったときには、あまりに立派な演説にさらにその気持ちが大きくなりました。明日の田富小を託せる、頼もしく素晴らしい子ども達だなと心から感じました。

田富小学校の学力向上の取組

過日、田富小ブログでもお伝えしていますが、私たちは、校内研究をもとに日々子ども達の学力の向上に取り組んでいます。内容を教え込ませる一斉授業ではなく、自分で考え、友達と学び合う、本当の意味での学力をつけていくための取組です。『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化』です。4月に行われた「全国学力・学習状況調査」では、国語・算数での本校の平均得点は、県や全国に比べ、ほぼ「やや劣る」という結果になっていました。同時に実施した、生活についての質問をした「児童質問紙」においては、自己肯定感、学習に向けての意欲、ICTの使用頻度など、県や全国を上回るものも大変多くありました。こうした子ども達の学びに向かう意欲を更に醸成させ、自ら問いを持ち、自らそして周囲の仲間とともに課題解決をしてゆく、そんな学習を推進しています。